

① 子どもから高齢者まで共に遊べる楽しいレジャー施設の整備について

街宣活動をしているなかで、子どもたち若い世代から女性、高齢者などに本町の魅力や何が不足し何が欲しいのか尋ねてみた。ほとんどの人が、「家族みんなで遊べる楽しい公園が欲しい」「高齢者も集える場が欲しい」という回答だった。魅力はというと、「学力意識が高いけど、心の情操教育が一番必要だ」との回答だった。やはり、本町での子どもから高齢者まで共に時間を共有し遊び、楽しめるレジャー施設やレスパイトの場がないというのが、現状での一番のまちづくりの課題だと考える。そこで以下の質問を聞く。

- (1) 長与港西側埋め立て地を利用し、家族でマリンスポーツが出来る環境整備を行う考えはないか聞く。
- (2) 全天候型の乳幼児から高齢者まで遊び、健康づくりが出来る室内用プールや様々な遊具を整えたアスレチックのインクルーシブ公園やレスパイトの場を作る考えはないか聞く。
- (3) アスレチックインクルーシブ公園等まで循環型ピストン運行できる小型ワゴン車を導入する考えはないか聞く。

② 学童保育の環境改善対策について

現在、学童保育に子どもさんを通わせている母親や別な祖母からの相談と問題提起があった。高田児童館内の学童保育は狭隘で、「ゆっくり過ごせる場所がない」と子どもさん等が訴えてきた。そこで、高田児童館内の学童保育の現状と今後の課題を解決する必要があると考えるので以下の質問を聞く。

- (1) 高田児童館内の学童保育に通わせている子どもの人数把握や現状を聞く。
- (2) 今後の問題点があれば、どのように回避できると考えるか聞く。
- (3) 子どもの声を日頃より把握できているのか、又、職員数は不足していないか聞く。
- (4) 高田児童館内の学童保育が狭隘なら、学童保育を新たに新図書館建設の際、現在の健康センターに移動する考えはどうか。

③ オーガニックビレッジ宣言について

- (1) 令和5年3月29日に長崎県で初となる「オーガニックビレッジ宣言」を南島原市が行った。以前にも申し上げたが、農林水産省が有機農業を推進するもので全国に拡大されつつある。そこで、本町も「オーガニック宣言」に参加推進し、有機農業の拡大や学校の給食に取り入れる考えはどうか。